



「信州Green電源拡大プロジェクト」の概要

長野県内の再エネ電源の開発加速に向け、
県と民間2社で新プロジェクトを開始

2021年5月27日



2021年5月、「信州Greenでんき」の取組を
さらに一歩進めた新たなプロジェクトを開始します。



信州Green電源 拡大プロジェクト

再エネ 開発
Green Power Development

再エネ 有効活用
Green Power Consumption

長野県で生まれた環境に配慮した
電気を使いながら、
長野県内の新たな再エネ電源開発を
支援していきます。



信州Greenでんき プロジェクト

信州の水でつくられた電気を
使っています

犀川、千曲川、木曽川、天竜川など
信州の豊かな水資源から生まれた
地球に配慮した電気を使っています

長野県企業局が運営する水力発電所で作られる電気に由来するCO₂フリー価値や地産価値を活用し、中部電力ミライズ等の小売電気事業者が、信州産電力として、長野県内を中心とした法人のお客さま等へ供給しています。

2021年4月 セイコーエプソンが県内事業所で利用する電力を すべて「信州Greenでんき」へ



エプソンの一部製品は
再生可能エネルギー100%で
開発・生産

2021年4月より
中部電力エリア内で利用する電気を、
すべて「信州Greenでんき」に切り替え※
温室効果ガスの削減に向けた
取組を、加速化します。

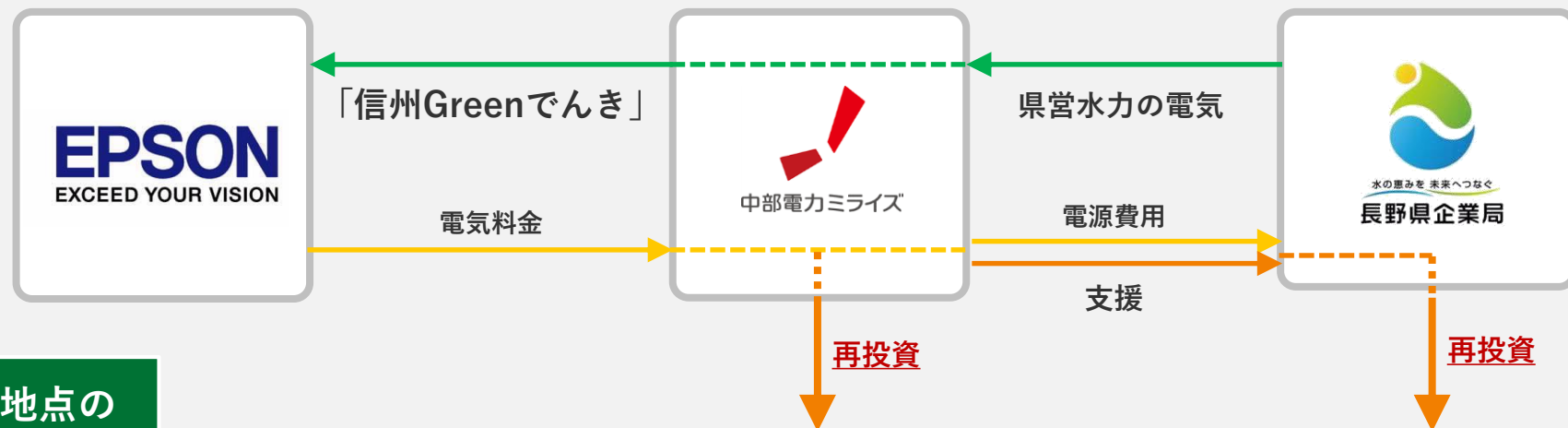
※一部、販売拠点などの賃借物件は除く



2021年5月、「信州Greenでんき」の取組をさらに一歩進めた新プロジェクトを開始 再エネ普及拡大を直接支援へ



「信州Green電源拡大プロジェクト」を通じて、事業所のCO2排出量削減だけでなく、再エネのさらなる普及拡大と、それを通じた地域経済の活性化等に貢献していきます。



特定地点の
再エネ開発を
直接支援

【新規再エネ電源開発の促進】

- ・越百のしずく発電所（長野県）
- ・黒川平発電所（中部電力）
- ・清内路発電所（中部電力）
- ・
- ・（順次追加）

- ・再エネの新規追加、リパワリング
- ・再エネ維持拡大を通じた雇用創出等による地域活性化
- ・再投資によって生れた再エネの活用によるさらなる経済循環 等

地域の再エネ普及拡大と経済の地域循環

今回のプロジェクト対象の再エネ発電所について

越百のしずく発電所について

中央アルプスの沢水を集めて天竜川に注ぐ溪流、与田切川。源流の越百山（こすもやま）にちなんで、「小さな一滴が大きなエネルギーとなること」を願って名づけられたのが、長野県企業局が開発を予定している越百（こすも）のしずく発電所です。

天竜川水系与田切川の本川上流地点での未利用資源を有効活用して、出力1,550kWの地球に配慮した電気をつくります。

黒川平水力発電所について

中央アルプスを水源とする天竜川水系太田切川。この地では、中部電力の新太田切水力発電所が60年以上発電を続けています。

この発電所からの放流水と未利用落差を発電に有効活用するのが、現在中部電力が建設を進めている黒川平発電所です。

出力170kWの地球に配慮した電気をつくります。

清内路水力発電所について

春になると5,000本もの花桃が咲く、南信州「はなもも街道」。現在中部電力が建設を進めている清内路水力発電所は、ここから細い山道を入った天竜川水系の黒川と小黒川の水資源を活用します。

この発電所は、ダムのように河川の水を貯めず、そのまま発電所に引き込む「流れ込み式」です。黒川と小黒川の上流で取水し、総延長約5.1kmの導水路トンネルを通じて、発電所に水を引き込み、出力5,600kWの地球に配慮した電気をつくります。

今回のプロジェクト対象の再エネ発電所について

清内路水力発電所

※中部電力G建設

【運転開始】2022年6月頃

【所在地】

長野県下伊那郡阿智村
および飯田市

【発電出力】5,600kW

【想定年間発電量】

約2,900万kWh

【CO₂削減量】

年間13,000トン程度



越百(こすも)のしずく発電所

※長野県企業局建設

【運転開始】2024年頃

【所在地】

長野県上伊那郡飯島町

【発電出力】1,550kW

【想定年間発電量】

約550万kWh

【CO₂削減量】

年間2,500トン程度

黒川平水力発電所

※中部電力G建設

【運転開始】2021年6月頃

【所在地】

長野県上伊那郡宮田村

【発電出力】170kW

【想定年間発電量】

約103万kWh

【CO₂削減量】

年間500トン程度



上記3地点以外にも、今後も本プロジェクト等を通じて、県内の再エネ発電増を支援

「信州Green電源拡大プロジェクト」主な取組内容



■ 長野県産CO2フリー電気の普及・拡大

「信州Greenでんき」等の長野県産のCO2フリー電気活用によるCO2排出量の削減

■ 再エネ電源の拡大

CO2フリー電気の一部の収益を活用した、長野県内の再エネ電源の新規開発や、普及促進策の支援

- ✓長野県企業局が開発する越百のしずく発電所をはじめとした再エネ電源の開発促進
- ✓中部電力グループが開発する、黒川平水力発電所、清内路水力発電所をはじめとした再エネ電源の開発促進等
- ✓固定価格買取制度に頼らない太陽光発電等の再エネ電源の新規開発

■ 需要家の脱炭素化推進

需要家構内の屋根や駐車場等を有効活用した自家消費型の再生可能エネルギー電源の開発や、省エネルギー化を通じた脱炭素活動の推進

中部電力ミライズの取組

2050年カーボンニュートラル実現に向けて
~~コンシューマサイドのエネルギー脱炭素化~~

1 省エネ化

設備機器の省エネ化、
省エネ運転等の運用改善、
電化等を含む効率の良いエ
ネルギーへの転換を通じて、
使用するエネルギー量を
削減へ

省エネ

2 創エネ化

屋根等の自社遊休地等を活用
した太陽光発電等の設置による、
自家消費化&使用エネルギーの
Green化へ

創エネ

自家消費

CO₂フリー
電気供給

3 エネルギーのGreen化

1・2で不足するエネルギーを、水力、
太陽光、風力等の既存再エネ電源に
由来するCO₂フリー電力に切り替え、
使用エネルギーのGreen化へ

中部電力ミライズは、
お客さまの脱炭素化を総合支援
しています。

中部電力グループでは、
長年培った省エネソリューションサービ
スや、お客さま構内における太陽光発電
の自家消費サービス、CO₂フリー電力の
供給等を通じて、皆さまの脱炭素化へ向
けた取組を総合的に支援しています。

+αの取組へ

地産電源化へ
再エネ電源の増へ



中部電力ミライズ